伊平屋村コミュミティ・スクール

学校・家庭・地域みんなが子どもたちの「せんせい」です

伊平屋村

コミュニティ・

第4号

文責 伊平屋村教育委員会 屋比久健太郎



地域とともにある学校づくり

保護者や地域住民の皆さんが学校運営に参詣する仕組みとして、学校運営協議会を投票し た学校を「コミュニティ・スクール」といいます。地域とともにある学校として、保護者・ 地域住民の据さんと教職員が、学校の教育ビジョンや課題を共有し、ともに知恵を出し合 いながら、教育活動の充実と学校や地域課題の解決につなげていく取り組みです。

コミュニティ・スクール

2025年度伊平屋村立小・中学校で始まります

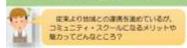
地域の方が学校教育に参画することで・・・

- 〇より多くの大人が関わることで専門性や地域の力を活かした学校運営や教育活動 が実現し、多様な経験を積むことができます。
- ○授業を始め、体験活動、発守り活動など様々な場面で多くの大人が関わること で、見守られているという安心感の中で成長することができます。
- ○地域の人材や資源に触れることで地域への愛着が沸き、地域への関心がたかま り、学校に留まらず地域を含め子どもたちの学びの場が広がります。

それぞれがつながり地域全体で将来の扱い手となる子どもたちを育むネットワークを 構築し、得無分野を活かした収納を持続可能な形での展開を巨指します。



コミュニティ・スクールのメリット・魅力は何?





です。

恵を出し合

組

知

① 組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能生

校長や教職員の実動があっても、学校連密協議会によって地域との組織的な連携・協働体制がその まま締結できる「持続可能な仕組み」です。

② 当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり

校長が作成する学校連営の「<mark>基本方針の承</mark>録」を適して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に 対して関係者がみな当事者意識をもち、「役割分担をもって連携・論職による取組」ができます。

ような子どもを育てていくのか、何を実現していくのかという「目標・ビジョンを共有」できます。

コミュニティ・スクールは、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の書さんが参画できる付 組みです。当事者として、子どもの教育に対する課題や目標を共有することで、学校を支援する取組が充実するとともに、関わる全ての人に標々な魅力が広がっていきます。

子どもに とっての 魅力

- 子どもたちの学びや体験活動が充実します。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 助犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

敦職員に とっての 魅力

保護者に

魅力

- 実現が可能となります。 地域人材を活用した数数活動が充実します。

- 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感があります。
 - 保護者岡士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の 人々に 魅力

- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を核とした地域ネットワークが形成され、地域の課題解決に つながります
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

絆大使」 絆大使任 は、 本村と母国 の友好 命 総務大 W eenish

J E T

の伝達を行いました。 「絆」を深めてもらうことを目的として、総務大「絆」を深めてもらうことを目的として、総務大 に教育長から任命書 シ・カーン

置した学校を「コミュニティ・スクー 保護者や地域住民の皆さんが学校運営に参画する仕組みとして、 令和七年度 地域住民 いながら、 より の皆さんと教職員が、 教育活動の充実と学校や地域課題の解決につなげていく取 伊平 ③ 目標・ビジョンを具有した「協應」活動 学校連禁協議の場を通して、子どもだちがどのような課題を指えているのか、地域でどの 屋村立小・中学校で始めるよう準備を進めています。 にある学は ル 学校の教育ビジョンや課題を共有し、 とい 自己肯定感や他人を思いやる心が育らます。 います。 地域の人々の理解と協力を得た学校連営や「社会に関かれた教育課程」の 地域とともにある学校とし 地域の協力により子どもと向き合う時間が確保できます。 学校や地域に対する理解が深まり、家庭教育との相乗効果が生まれます。 学校運営協議会を設 軽減を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。 ともに